

主催 北名古屋市国際交流協会 特別協力 北名古屋市 / あいち国際女性映画祭

第10回アジア太平洋フェスティバル

フィルムフェスティバル *in* 北名古屋

プログラム

第1部 10:00~12:30 長編劇映画

◆「淪落の人」香港映画 2018

監督 / 脚本 オリヴァー・チャン

◆ 基調報告

「『淪落の人』を観て、香港の今」

木全純治氏 (あいち国際女性映画祭ディレクター)

第2部 13:30~16:00 長編ドキュメンタリー映画

◆「荒野に希望の灯をともし

～医師・中村哲現地活動 35年の軌跡～」

日本映画 2021 監督 谷津賢二

◆シンポジウム

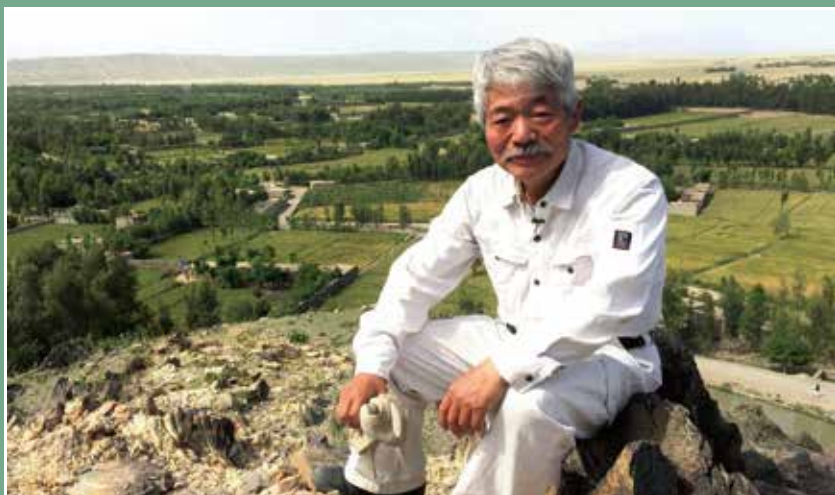
「一隅を照らす～中村哲医師がアフガニスタンで灯した

明かりを広げていくために～」

ゲスト 藤田千代子氏 (バシャワールの会理事

・PMS 支援室長兼 PMS 総院長補佐)

進行役 佐藤久美氏 (名古屋国際工科専門職大学教授)



荒野に希望の灯をともし

～医師・中村哲 現地活動 35年の軌跡～



配給 日本電波ニュース社

混迷するアジア情勢を考える！
映画に観る、アフガニスタンと香港の「今」。

とき 2022.2.11. (金・祝)

10:00 ~ 16:00 (開場 第1部 9:30
第2部 13:00)

ところ 名古屋芸術大学アーツスクエア 大ホール
(北名古屋市文化勤労会館)

入場料 無料。定員300名。先着順。入替制。事前申込みが必要。

*お申し込みはQRコードからアクセスできます→



お問い合わせ / お申し込み先 北名古屋市国際交流協会

〒481-8531 北名古屋市西之保清水田 15 番地 市役所西庁舎 4 階 ☎0568-22-1111 E-mail info@kitanagoya-kiia.jp

*イベントは、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

第10回アジア太平洋フェスティバル

フィルムフェスティバル *in* 北名古屋

✓ 入場料 無料。先着順。入替制。事前申込みが必要。

第1部 10:00~12:30
(開場 9:30)

◇10:00~12:00

長編劇映画 2018年 香港映画 112分

「淪落の人 (りんらくのひと)」

監督 / 脚本 オリバー・チャン

出演者 アンソニー・ウォン クリセル・コンサンジ

サム・リー セシリア・イップ



あらすじ

突然の事故で半身不随になってしまった男、リョン・チョンウィン（アンソニー・ウォン）。妻と離婚、息子と離れて暮らし、人生に何の希望も抱けないまま、ただただ日々暮らしていた。妹ジンイン（セシリア・イップ）との関係もうまいかず、慰みは唯一の友達である元同僚のファイ（サム・リー）との会話と海外の大学に通う一人息子の成長だけ。そこに若いフィリピン女性エヴリン（クリセル・コンサンジ）が住み込み家政婦としてやってくる。広東語が話せない彼女に、最初はイライラを募らせたチョンウィンだったが、片言の英語で会話をしながら、お互いに情が芽生えていく。やがて、エヴリンが生活のために、やむを得ず写真家への道をあきらめたものの、今でも心の中で夢を追いかけていることを知ったチョンウィンは、彼女の夢を手助けをしようと思い始めるが……。

◇12:00~12:30

基調報告

「“淪落の人”を観て、香港を考える」

木全純治氏（あいち国際女性映画祭ディレクター）

第2部 13:30~16:00
(開場 13:00)

◇13:30~15:00

ドキュメンタリー映画 2021年 日本映画 88分

「荒野に希望の灯をともし」

～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～

監督 谷津賢二



アフガニスタンとパキスタンで35年にわたり、病や戦乱、そして、干ばつに苦しむ人々に寄り添いながら命を救い、生きる手助けをしてきた医師・中村哲。

NGO 平和医療日本（PMS）を率いて、医療支援と用水路の建設を行ってきた。

活動において特筆すべきことは、その長さだけでなく、支援の姿勢がまったく、ぶれることなく一貫していたことだ。一連の活動は、世界から高く評価され、愛されてきた。今、アフガニスタンに建設した用水路群の水が、かつての干ばつの大地を恵み豊かな緑野に替え、65万人の命を支えている。

しかし、2019年12月。用水路建設現場へ向かう途中、中村医師は何者かの凶弾に倒れた。その突然の死は、多くの人々に深い悲しみをもたらした。だが、一方で私たちに強く問いかけもする。

中村医師が命を賭したものは何なのか。中村哲が遺した文章と1000時間に及ぶ記録映像をもとに、現地活動の実践と思想をひも解く。

◇15:00~16:00

シンポジウム

「一隅を照らす～中村哲・医師がアフガニスタンで灯した明かりを広げていくために～」

ゲスト 藤田千代子氏

（パシャワールの会理事・PMS 支援室長兼 PMS 総院長補佐）

進行 佐藤久美氏（名古屋国際工科専門職大学教授）